

石神井公園

2025.9 Vol. 56

ふるさと文化館ニュース

Newsletter of Nerima Shakujiikoen Furusato Museum

特別展

昭和100年 日常の風景

太田隆司ペーパーアートの世界

令和7(2025)年

9.13 土 ▶ 11.3 月・祝

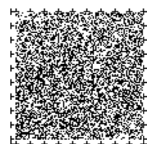


練馬区立 石神井公園

ふるさと文化館

NERIMA SHAKUJIIKOEN FURUSATO MUSEUM

Enjoy the Show-WA!としまえん amusement park



特別展

「昭和100年 日常の風景 —太田隆司ペーパーアートの世界—」

会 期:令和7年9月13日(土)～11月3日(月・祝)

会 場:石神井公園ふるさと文化館 2階 企画展示室

観覧料:一般 300(200) 円、高校生・大学生 200(100)円、
65～74歳の方 150 円、中学生以下と75歳以上の方 無料

※身体障害者手帳・愛の手帳・精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付き添いの方1名は
一般150円/高校生・大学生100 円

※()内は20名以上の団体料金

※一般以外の割引対象の方は年齢等の確認できるものをお持ちください。

令和7(2025)年は「昭和100年」にあたります。戦争の時代を経て、戦後日本は大きく発展を遂げてきました。電気・水道・ガスの整備が徐々に進み、家電製品などの便利な暮らしの道具や自動車
が普及して、服装にも変化がみられました。

本展では、ペーパーアーティスト太田隆司氏の手がけるペーパーアート作品を通じて、街並みや日常生活など昭和の風景、今も残る昭和の残像をお楽しみいただければと思います。昭和のとしまえんをテーマにした新作は初公開です。また、当時の写真を展示し、練馬の昭和の日常風景も紹介します。



上:東京下町 人を、暮らしを乗せて・・・
左:紙岡自動車

制作: 太田隆司
制作助手: 新井 隆
撮影: 逸見祥希
©TAKASHI OHTA

関連イベント

ギャラリートーク

日時 10月5日(日) ①13時～ ②15時～(各回30分程度) **参加費** 無料

解説 太田隆司(ペーパーアーティスト)

会場 石神井公園ふるさと文化館 2階 企画展示室(直接会場にお集まりください)

詳しくは、本展チラシ、
当館ホームページを
ご覧ください



ワークショップ「3Dポップアップカード「としまえん」を作ろう！」

日時 10月12日(日) 14時～16時 **参加費** 100円

申込 往復はがきまたはHP申込フォームにて9月18日(木)必着

ワークショップ「作品に登場する犬を作ろう！」

日時 10月26日(日) 14時～16時 **参加費** 150円

申込 往復はがきまたはHP申込フォームにて10月2日(木)必着

ワークショップ共通

講師 太田隆司(ペーパーアーティスト) **定員** 30名(抽選)

会場 石神井公園ふるさと文化館 1階 多目的会議室

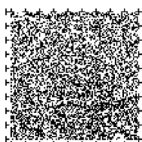
対象 小学生以上(1～3年生は保護者の付き添いが必要)



巣立つ日のわが家

常設展示室コーナー展示 昭和とともに歩んだ遊園地「としまえん」

遊園地「としまえん」は、大正15(1926)年に開園し、令和2(2020)年8月31日に、94年の歴史に幕を閉じました。現在は練馬城址公園や「ワーナー ブラザース スタジオツアー東京 —メイキング・オブ・ハリーポッター—」となっています。3ページの写真は、昭和63(1988)年頃のとしまえんのマップで、この頃、各地の遊園地は絶叫マシンブームとなり、としまえんでも次々とスリルのあるアトラクションが誕生していきました。マップを見て、「ああこれ これ!」と、アトラクションの思い出を語られる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。園の中央で一際存在感を示している、バイキングの顔が取り付けられた大きな船は、昭和59(1984)年に登場した「フライングパイレーツ」で、地上45m、ビルの15階にあたる高さから全長20m・120名乗りの大船が急降下と急上昇を繰り返す「人間の快感の限界」を再現したアトラクションでした。「フライングパイレーツ」から向かって左の、青と黄色のループがあるアトラクションは、全長280mを最高時速86キロ、37秒間で駆け抜ける絶叫マシン「シャトルループ」です。日本で体験できたのは4か所の遊園地のみで、最大の重力加速度は6.07Gにもなりました。昭和55(1980)年に設置され、平成19(2007)年まで稼働していました。



コラム 常設展示室 昭和の高度経済成長期の情景を再現したコーナー

常設展示室の最も奥にある、高度経済成長期の区内の情景を再現したコーナー。このコーナーは大きく2つに分かれています。

ひとつは、昭和30年代後半の石神井公園駅前広場の再現です。写真上、向かって左のパネルは、昭和38(1963)年頃までの石神井公園駅の駅舎です。斜め向かいにある中華そば屋の看板には、中華そばが50円、親子丼が80円などと記載があり、社会科見学で来訪する小学3年生がその値段によく驚いています。これは実際に区内にあった昭和38(1963)年頃の店舗のメニューを参考にして制作しました。自動車はオート三輪車で、安価で積載力があり、小回りが利くなどの点が人気を集めました。

コンクリート製のゴミ箱は、昭和39(1964)年の東京オリンピックを目前に控え、悪臭が漂い、景観上良くないことなどから、この後次第に青い蓋付きのポリバケツに変わっていきます。ゴミの収集方法についても、衛生上、不定期だったものから、決まった日時にゴミが収集されるという方法に変わっていきましました。また、たばこ屋には「オリンピック」のポスターが貼ってあります。「オリンピック」は昭和38(1963)年から39年にかけて販売されたオリンピック寄付金つきたばこ(寄付金10円を含む定価60円)です。ここではまさに東京オリンピック前後で練馬の様子が移り変わっていく時期の情景を表しています。

もう一方は、昭和47(1972)年の練馬区内の民家の再現です(写真下)。こちらは、昭和30年代に結婚したサラリーマンの夫婦と子ども、農家を営む祖父母の、三世代同居の設定です。土間を部屋に改造した、夫婦と子どもの生活空間があり、電化製品が色々な所に設置してあります。

台所には、電気炊飯器や電気冷蔵庫が置いてあります。練馬区域では都心より少し遅く、昭和40年代に水道やガスが普及し、台所に水道やガスコンロがあるのが一般的になりました。

ちゃぶ台のある畳の部屋にはテレビがあります。当時カラーテレビも販売していましたが、この家にはまだ白黒テレビが置かれ



昭和30年代後半
石神井公園駅前広場の再現



昭和47(1972)年
練馬区内の民家の再現

ています。家の外には洗濯機があります。昭和30年代後半になると洗濯槽と脱水槽が分かれた二槽式洗濯機が登場しますが、これはそれ以前の一槽式のもので、ローラーに洗濯物をはさみこみ、水気をしぼって使いました。

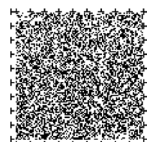
特別展「昭和100年 日常の風景―太田隆司ペーパーアートの世界―」では、日常の生活や街並みなど昭和の風景、今も残る昭和の残像を紹介します。どうぞ常設展示室情景再現コーナーもお楽しみください。

(学芸員 相川詩織)



園の中央を流れる石神井川の南には、7つのプールがありました。昭和40(1965)年に誕生した「流れるプール」や昭和63(1988)年に誕生したウォータースライダー「ハイドロポリス」が有名ですが、円形の流れるプールの内側にある競泳プール(大プール)と小プールは、昭和4(1929)年から設置され、閉園時まで親しまれていた施設でした。

常設展示室では、昭和100年に合わせ、昭和とともに歩んだ遊園地「としまえん」の資料を展示しています。



としまえんガイドマップ 昭和63(1988)年頃

催し物のご案内(10月～12月)

石神井公園ふるさと文化館展覧会

特別展「昭和100年 日常の風景―太田隆司ペーパーアートの世界―」
9月13日(土)～11月3日(月・祝)
※展覧会および開催イベントの詳細等につきましては、
2ページをご覧ください。

季節展示

歳時にあわせた年中行事を再現し、季節ごとに飾りつけなどを行います。(観覧無料)

十五夜飾り 10月2日(木)～10月7日(火)

十三夜飾り 10月29日(水)～11月3日(月・祝)

正月飾り 12月27日(土)～1月11日(日)

ふるさと文化講座

歴史・民族・自然など様々なテーマの講座を行います。

加藤正世の昆虫標本と東京の昆虫(仮称)

11月2日(日)14時～15時30分

講師 矢後勝也(東京大学総合研究博物館講師)

定員 90名(抽選) **参加費** 無料

会場 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

申込 事前申込制※

練馬区の板碑について(仮称)

12月21日(日)14時～16時

講師 伊藤宏之(大正大学文学部歴史学科准教授)

定員 90名(抽選) **参加費** 無料

会場 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

申込 事前申込制※

区内散策事業

石神井公園ガイドツアー

11月3日(月・祝)10時～12時

定員 20名 **参加費** 保険料50円

申込 事前申込制※

その他イベント

「小野蘭山墓誌」特別公開 10月25日(土)～11月3日(月・祝)

会場 石神井公園ふるさと文化館2階 常設展示室

石神井城跡発掘パネル展 11月1日(土)～3日(月・祝)10時～16時

会場 都立石神井公園内石神井城跡

やってみよう！プロの漫画家に教わる漫画教室

10月から2月の土曜日14時～15時30分 全8回

対象 小学5年生～高校生優先。保護者の参加もしくは付き添い可能。

定員 30名(抽選) **申込** 事前申込制※

参加費 1,000円(8回分)を初回に支払い(返金なし)

会場 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室など

リードオルガンのお話と演奏～風から生まれる音楽～

11月15日(土)14時～15時

出演 相田 南穂子(リードオルガン)、山本富美(ソプラノ)

定員 90名(抽選) **参加費** 無料 **申込** 事前申込制※

会場 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

絵本とあそぶ会

11月23日(日・祝)14時～14時45分

対象 幼児～小学生と保護者 **定員** 50名

参加費 無料 **申込** 事前申込制※

会場 石神井公園ふるさと文化館1階 多目的会議室

分室

五味康祐のオーディオで聴くレコードコンサート

10月25日(土)、11月29日(土)、12月27日(土)

①13時30分～15時 ②15時30分～17時

対象 中学生以上 **定員** 各回20名(抽選)

参加費 各回300円～500円(解説員により異なる)

会場 石神井松の風文化公園管理棟2階

五味康祐オーディオ展示室 **申込** 事前申込制※

※各催しの開催時期・内容は変更になることがあります。また、募集時期・申込方法については、ねりま区報や当館ホームページ等でお知らせします。

利用のご案内(令和7年9月現在)

開館時間 9時～18時(会議室の利用は、9時～21時30分) **入館無料** ※特別展は一部を除いて有料

休館日 月曜日(月曜日が祝休日のときは、その翌平日)、年末年始(12月29日～1月3日)、臨時休館日

石神井公園ふるさと文化館

徒歩10分

分室

西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分

西武新宿線「上井草駅」下車 徒歩25分

西武バス 荻14

(石神井公園駅南口～上井草駅～荻窪駅)

みどりバス 関町ルート(関町福祉園～武蔵関駅南口～
上石神井駅～練馬高野台駅～順天堂練馬病院)
「JA東京あおば」下車 徒歩5分

西武バス 荻15(長久保～大泉学園駅南口～上井草駅～

荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)

「三宝寺池」下車 徒歩2分

西武池袋線「石神井公園駅」下車 徒歩15分

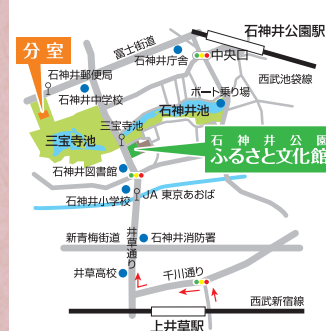
西武バス 吉60(成増町～石神井公園駅北口

～上石神井駅～吉祥寺駅)

西武バス 荻15(長久保～大泉学園駅南口～上井草駅

～荻窪駅～阿佐ヶ谷駅)

「石神井郵便局」下車 徒歩3分



石神井公園ふるさと文化館ニュース Vol.56

令和7(2025)年9月1日発行

編集・発行 練馬区立石神井公園ふるさと文化館(公益財団法人練馬区文化振興協会)

ホームページ <https://www.neribun.or.jp/furusato.html>

石神井公園ふるさと文化館 住所 〒177-0041 東京都練馬区石神井町5-12-16

石神井公園ふるさと文化館分室 住所 〒177-0045 東京都練馬区石神井台1-33-44

TEL:03-3996-4060 FAX:03-3996-4061

